

## 夏を迎えて

校長 川口 真澄

梅雨空が続いています。ときおり晴れ間に射す陽の光は強くまぶしく、本格的な夏の到来を告げています。今年は猛暑の予報がでており、まさに四季の「夏」らしい、暑い夏となるのでしょうか。先日玄関を出たときに見上げた空は青く、風はほのかな潮の香りがして、江東区が海に近いことを、感じました。あらためて身近な自然とそれに触れる命、そして今共に在ることの大切さを感じます。

「春」の芽生えから、しばしの梅雨を経て、「夏」へ。子供達の成長にも「めばえ」の時期から、まぶしい成長を遂げる間には、しばし梅雨前線が停滞するような時期があります。しかしいつの間にか子供達はその期間を抜け、心も身体もグングン伸び、自分なりの楽しみや友達、さまざまな関わりのある人と共に過ごすことが楽しい「青春」と呼ばれる時、社会で光輝く時を迎えるのでしょう。

今はまだ幼く、愛しい表情の子供達が、「あの頃はね」と笑顔で語られるまでに成長することはそう遠い未来ではなく、今現在から続く道の先にあります。私達は常に、子供達の大切な命を育み、人生を共にしているのだという畏れを持ち続けなければならないと考えています。

本校の「安心・安全な学校づくり」を推進するために、今年度も江東区総務部危機管理室防災課、城東警察署、城東消防署並びに大島出張所、地域の消防団や町会長様、PTAからなる防災教育推進委員会の協力をいただき、防災教育・防災対策の整備に努めます。今年度は、9/8,9 に実施される中学部1年生を対象とした「一泊二日宿泊防災訓練」における連携・協働をとおり、危機管理対策の充実を図ります。平成以降、非常時、危機は身近にあるということを私達は学びました。どんな時も子供達のかげがえのない命と笑顔を守れるよう、「チーム城東」は準備と対策を進めてまいります。

## 『 小学部移動教室 』

主幹教諭 景山 陽子

6月の15～16日に5、6年生は市川少年自然の家へ1泊2日の移動教室に出かけてきました。梅雨に入り天候も心配されましたが、2日間ともとても良い天気にも恵まれ、宿泊先で体調を崩すことなく、元気に過ごすことができました。特に6年生は小学部まとめとしての宿泊となりましたが、11人全員で参加し、昨年の経験をいかして学習の成果を発揮できました。

1日目は「市川動植物園」に出かけ、レッサーパンダなど多くの動物を見た後、ふれあい動物コーナーで、モルモットを抱いたり、ウサギに触れたりすることができました。初めて経験する児童もいましたが、膝の上にモルモットをのせると、優しくそっと触れていました。「自然の家」では入浴や荷物整理は事前学習の成果が出ていて自分の力で取組む姿が見られ、食事の準備や片づけも積極的に行うことができました。

2日目はぐっすり朝まで眠る子、早朝から目を覚ます子・・・とそれぞれでしたが、全員が元気に朝を迎えることができました。最後のお楽しみはプラネタリウム。事前学習では教室を真っ暗にしてプラネタリウム体験を行ったので、とても静かに星に見入っていました。退所のつどいの後、「自然の家」の所長さんに見送られ、無事に学校に戻ることができました。

